

(適用範囲)

- 第 1 条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款に定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。)又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

- 第 2 条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出るものとします。
- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金(原則として別表第 1 の基本宿泊料による。)
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第 3 条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾した時に成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊しようとする者は、宿泊期間(3 日を超えるときは 3 日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 19 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに支払わなかった場合は、当ホテルは、宿泊契約を解除することがあります。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第 4 条 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

- 第 4 条の 2 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客又は利用客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。(大阪市旅館業法の施行等に関する条例第10条の規定に該当するとき。)

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるにあつて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 8 時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第 7 条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
 - (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
 - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (8) 宿泊客が、他の宿泊客又は利用客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。(大阪市旅館業法の施行等に関する条例第10条の規定に該当するとき。)
 - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金は請求しません。

(宿泊契約解除の説明)

第 7 条の 2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊の登録)

第 8 条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示するものとします。

(客室の使用時間)

第 9 条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 3 時から翌日の正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過 3 時間までは、基本宿泊料の 30%
- (2) 超過 6 時間までは、基本宿泊料の 50%
- (3) 超過 6 時間以上は、基本宿泊料の 100%

(利用規則の遵守)

第 10 条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めた利用規則に従わなければならないものとします。

(営業時間等)

第 11 条 当ホテルの施設等の営業日及び営業時間は、客室内備付けのパンフレット、当ホテル内の掲示等で案内するものとします。ただし、やむを得ない場合は、これらを臨時に変更する場合があります。この場合、当ホテルは、適切な方法により周知するものとします。

(料金の支払い)

第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第 1 に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求したとき、フロントデスクにおいて行うものとします。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第 13 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(免責事項)

第 14 条 当ホテル内からのコンピューター通信(インターネット接続等をいいます)のご利用にあたっては、利用者ご自身の責任において行うものいたします。コンピューター通信の結果(通信速度の低下、中断、不通等を含みます)により、利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは、一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用にあたり当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じたときは、その損害を賠償していただきます。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 15 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、天災その他の理由により困難な場合を除き、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことにつ

いて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 16 条 宿泊客がフロントデスクに寄託した物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を補償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内に持ち込んだ物品又は現金並びに貴重品であってフロントデスクに寄託しなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告がなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 17 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントデスクにおいてチェックインする際に引き渡すものとします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合は、原則として、発見日を含め最長 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車の実任)

第 18 条 宿泊客が当ホテルが案内する駐車場を利用する場合、車両のキー寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をご案内するものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 19 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊者は当ホテルに対し、その損害を賠償するものとします。

別表第 1

宿泊料金等の算定方法(第 2 条第 1 項、第 3 条第 2 項及び第 12 条第 1 項関係)

| | | 内容 |
|-------------|------|---|
| 宿泊客が支払うべき総額 | 宿泊料金 | ① 基本宿泊料(室料) ② サービス料(①×10%) |
| | 追加料金 | ③ 飲食料(又は追加飲食料)およびその他の利用料金 ④ サービス料(③×10%) |
| | 税金 | イ、消費税 |
| | | ロ、宿泊税 |

別表第 2

違約金(第 6 条第 2 項関係)

| 契約解除の通知を受けた日 契約申込人数 | | 不泊 | 当日 | 前日 | 9 日前 | 20 日前 |
|------------------------|-----------|------|------|-----|------|-------|
| 一般 | 14 名まで | 100% | 80% | 20% | — | — |
| 団体 | 15～99 名まで | 100% | 80% | 20% | 10% | — |
| | 100 名以上 | 100% | 100% | 80% | 20% | 10% |

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の 10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については違約金はいただきません。

ホテル阪急インターナショナルはお客様に安全かつ快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第 10 条にもとづいて、次のとおり利用規則を定めておりますのでお守りください。この規則で定められた事項をお守りいただけないときは、宿泊約款第 7 条により、やむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ第 19 条により責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

●1. 安全と保安上お守りいただきたいことについて

- 1) 客室内で暖房用、炊事用などの火気をご使用にならないでください。
- 2) 当ホテル所定の場所以外での喫煙はなさないでください。
- 3) 花火、線香、ロウソク類、火災の原因となるような物品をご使用にならないでください。
- 4) 客室からの避難経路図は、客室入口ドアの裏側に掲示してありますのでご確認ください。
- 5) ご滞在中お部屋から出られる際は、施錠をご確認ください。
- 6) ご滞在中、ドアがロックされた場合はドアチェーンを掛けたまま開扉するか、ドアスコープでご確認ください。万一不審者と思われる場合はフロントデスクにご連絡ください。
- 7) ご訪問者とのご面会は 2 階ロビーおよびライブラリーでお願いいたします。

●2. 貴重品、お預かり品のお取り扱いについて

- 1) ご滞在中の現金、貴重品はフロントデスクに備え付けの貸金庫をご利用いただきますようお願い申し上げます。
- 2) お忘れ物、遺失物の処置は法令にもとづいてお取り扱いさせていただきます。
- 3) お預かり物の保管期間は、原則として下記の通りお取り扱いさせていただきます。

フロントデスクでのお預かり物 7 日

お預かりのお洗濯物 1 か月

●3. お支払いについて

- 1) 原則として、ご到着の際宿泊料金等を申し受けますのでご了承ください。
- 2) ご滞在中フロントデスクから勘定書の提出がございましたら、その都度お支払いください。
- 3) 小切手によるお支払い並びに両替はお受けできませんのでご了承ください。
- 4) ホテル内のレストラン、バーのご利用に際し、会計伝票にご署名される場合は、お部屋の鍵を係員にご提示ください。
- 5) ホテル直営でない飲食店物販店等での飲食代、お買い物代、および航空券、列車、遊覧バスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代などのお立替えはできませんのでご了承ください。
- 6) 当ホテルが、お客様の依頼で代行する航空券、列車、遊覧バスなどの切符代、お荷物発送代などについては、その都度現金を申し受けます。

●4. ホテル内の他のお客様に迷惑をかけるので、おやめいただきたい行為

- 1) ホテル内への下記の物品のお持ち込み

1. 犬、猫、小鳥その他の愛玩物(補助犬は除く)
2. 発火または引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品
3. 悪臭を発するもの
4. その他法令で所持を禁じられているもの
- 2) 火災報知器、スプリンクラー、煙感知器、消火栓、その他火災予防に関する諸設備を、必要な時以外に使用したりいたずらすること
- 3) ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、または他のお客様の迷惑になったり、嫌悪感を与えるような行為
- 4) 客室やロビーでの営業行為または事務所など、宿泊以外の目的にご使用になること
- 5) ホテル内で広告、宣伝物を配布、貼付したり、物品の販売等を行うこと
- 6) ホテル内の備品を所定の場所から移動したり、用途以外に現状を著しく変更してご使用になること
- 7) 諸設備、諸物品をホテルの外へ持ち出すこと
- 8) ホテルの外観を損なうようなものを窓に掛けたり、窓側に陳列すること
- 9) 寝間着、スリッパ等で廊下、ロビー、レストラン等、客室以外の諸施設にお出かけになること
- 10) 廊下やロビーなどに所持品を放置すること

●5. その他

- 1) 未成年のみのご宿泊は特に保護者の許可がない限りお断りいたします。
- 2) 不可抗力以外の事由により建造物、備品その他ホテルの物品を損傷、汚染あるいは紛失させた場合相当額の弁償をしていただくことがあります。
- 3) 客室内から電話をご利用の際は、施設利用料を加算させていただきます。
- 4) 誠に勝手ながら、25 階のスペシャルティレストラン「マルメゾン」では、ディナータイムにおいて上着のご着用をお願いしております。
- 5) 当ホテルが所属しているビルに設置されている駐車場をご利用になる場合、車両の鍵の寄託の如何にかかわらず、当ホテルは車両の管理責任を負うものではありませんので、ご承知おきください。
- 6) 次のいずれかに該当すると認められる個人または団体のお客様は、当ホテルの諸施設のご利用をお断りいたします。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

イ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体

ウ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する方

エ 当ホテル、従業員または他の宿泊客その他の第三者に対し、暴力、威迫、恐喝若しくは威圧的な不当要求を行い、若しくは合理的な範囲を超える要求を行った方又は過去に同様の行為を行った方

以上

(Scope of Application)

Article 1. Accommodation contracts and related agreements to be concluded between the hotel and the guest shall be subject to these Terms and Conditions, and all matters not provided herein shall be subject to the laws and regulations, etc. (meaning laws and regulations or those based on laws and regulations; the same shall apply hereinafter) or generally accepted practices.

2. In the event that the hotel has entered into a special agreement to the extent that such special agreement does not violate any laws and regulations and generally accepted practices, the special agreement shall prevail, notwithstanding the preceding paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. A person who intends to make an application for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following information:

- (1) Name of the guest(s)
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation fee (in principle, based on the basic accommodation fee listed in Attached Table 1)
 - (4) Other information deemed necessary by the hotel
2. When the guest requests extension of the accommodation beyond the date(s) in Item (2) of the preceding Paragraph during his/her stay, the hotel shall process it as an application for a new accommodation contract made at the time of such request.

(Conclusion of an Accommodation Contract, etc.)

Article 3. An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when the hotel has duly accepted the application set forth in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the hotel has not accepted the application.

2. In the case where an accommodation contract has been concluded in accordance with the provision of the preceding Paragraph, the guest must pay an accommodation deposit fixed by the hotel within the limits of the basic accommodation fee covering the guest's entire period of stay (three days when the period of stay exceeds three days) by the date specified by the hotel.

3. The accommodation deposit shall be first used for the total accommodation fees to be paid by the guest, then secondly for the cancellation fee under Article 6, and thirdly for the compensation under Article 18 as applicable; the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the accommodation fee set forth in Article 12.

4. If the guest fails to pay the accommodation deposit by the date set forth in Paragraph 2, the accommodation contract shall become invalid. However the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the hotel at the time when the payment date of the accommodation deposit is specified.

(Special Provisions Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the hotel may accept special provisions requiring no accommodation deposit set forth in the same Paragraph after the contract has been concluded.

2. In the case where the hotel has not requested payment of the accommodation deposit set forth in Paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the payment date of the accommodation deposit at the time when the application for an accommodation contract has been accepted, it shall be deemed that the hotel has accepted the special provisions set forth in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection prevention measures at the hotel facility)

Article 4-2. The hotel may request the cooperation of those who intend to stay at the hotel in accordance with Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The hotel may refuse to conclude an accommodation contract in the following cases.

However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the application for accommodation is not based on the provisions of these Terms and Conditions

(2) When the hotel is fully booked and there is no vacancy

(3) When the person seeking accommodation is recognized to be likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation

(4) When the person seeking accommodation is recognized to fall under any of the following (a) to (c)

(a) An organized crime group set forth in Article 2, Item (ii) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "organized crime group"), a member of an organized crime group set forth in Article 2, Item (vi) of the said Act (hereinafter referred to as an "organized crime group member"), a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces

(b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member

(c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member

(5) When the person seeking accommodation has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests

(6) When a person who intends to stay at the hotel is a patient, etc., with a specific infectious disease as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "Patients, etc., with a specific infectious disease").

(7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where a person who intends to stay at the hotel requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities [Act No. 65 of 2013; hereinafter referred to as the "Disabilities Discrimination Act"].)

(8) When a person who intends to stay at the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.

(9) When the hotel is unable to provide accommodation due to a natural disaster, a breakdown of the facilities, or other unavoidable reasons

(10) When it is recognized that the person seeking accommodation is likely to significantly disturb other guests or users (In the case where the provision of Article 10 of the Osaka City Hotel Business Act Enforcement Ordinance applies)

(Explanation of refusal to conclude accommodation contract)

Article 5-2. In the event that the hotel refuses to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding article, the person who intends to stay at the hotel may request an explanation of the reasons for such refusal.

(Guest's Right to Cancel the Contract)

Article 6. The guest may cancel the accommodation contract by notifying the hotel.

2. If the guest cancels the accommodation contract, in whole or in part, for reasons attributable to the guest (except where the hotel has specified a payment date for the accommodation deposit and requested the payment of the accommodation deposit in accordance with the provision of Article 3, Paragraph 2, and the guest has canceled the accommodation contract prior to such payment), the hotel shall charge the guest the cancellation fee set forth in Attached Table 2. However, in the case where the hotel has accepted special provisions set forth in Paragraph 1 of Article 4, it shall be limited to the case where the hotel has notified the guest, upon the acceptance of such special provisions, of the obligation to pay a cancellation fee in the event of cancellation of the accommodation contract by the guest.

3. If the guest fails to arrive by 8:00 pm on the day of the stay (or 2 hours after the estimated time of arrival, if the estimated time of arrival has been specified in advance) without any contact, the hotel may treat the accommodation contract as having been canceled by the guest.

(The Hotel's Right to Cancel the Contract)

Article 7. The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the guest is recognized as likely to commit an act contrary to the provisions of laws and regulations or public policy regarding accommodation, or when the guest is recognized to have committed such an act

(2) When the guest is recognized as falling under any of the following (a) to (c)

(a) an organized crime group, an organized crime group member, a quasi-member of an organized crime group, an organized crime group related person, or any other anti-social forces

(b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member

(c) A corporation whose officer falls under the category of an organized crime group member

(3) When the guest has behaved in a manner that is significantly disturbing to other guests

(4) When a guest is a patient, etc., with a specific infectious disease

(5) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation. (However, this excludes cases where the guest requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Disabilities Discrimination Act.)

(6) When a guest of the hotel repeatedly asks the hotel what is stipulated in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request that is so burdensome in its implementation and may seriously impede the provision of accommodation services to other guests.

(7) When it is unable to provide accommodation due to force majeure, such as natural disasters.

(8) When it is recognized that the guest is likely to significantly disturb other guests or users (In the case where the provision of Article 10 of the Osaka City Hotel Business Act Enforcement Ordinance applies)

(9) When smoking in bed in his/her hotel bedroom, tampers with fire-fighting equipment, etc., or otherwise failing to comply with the prohibitions (limited to those necessary for fire prevention) in the Rules of Use set forth by the hotel

2. When the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding Paragraph, the guest shall not be charged for any accommodation services that have not yet been provided to him/her.

(Explanation of cancellation of accommodation contract)

Article 7-2. In the event that the hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Accommodation Registration)

Article 8. The guest shall register the following information at the front desk of the hotel on the day of his/her stay.

(1) Guest's name, address and contact information

(2) For foreign nationals who do not have an address in Japan: nationality and passport number

(3) Other information deemed necessary by the hotel

2. If the guest intends to pay the fees under Article 12 by traveler's check, hotel voucher, credit card, or any other method which may be substituted for currency, the guest shall present them in advance at the time of registration set forth in the preceding Paragraph.

(Guest Rooms Available Hours)

Article 9. The time allowed for the guest to use the guest room of the hotel shall be from 3:00 pm to 12:00 pm. However, the room may be used for the whole day in the case where the guest stays more

than one night consecutively, excluding the day of arrival and the day of departure.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the hotel may accept use of the guest room outside the hours specified in the preceding Paragraph. In such cases, the following additional charges shall be paid.

(1) Up to 3 hours in excess: 1/3 of the room charge (or 30% of the amount equivalent to the room charge)

(2) Up to 6 hours in excess: 1/2 of the room charge (or 50% of the amount equivalent to the room charge)

(3) 6 hours or more in excess: Full amount of the room charge (or 100% of the amount equivalent to the room charge)

(3. The amount equivalent to the room charge in the preceding Paragraph shall be 70% of the basic accommodation fee.)

(Compliance with Rules of Use)

Article 10. Inside the hotel, the guest shall comply with the Rules of Use set forth by and posted in the hotel.

(Business Hours)

Article 11. The operating hours of the main facilities of the hotel shall be as follows, and detailed information on the operating hours of other facilities shall be available in the pamphlet provided, on notices posted in various places, in the service directory in the guest room, etc.

(1) Service hours for the front desk cashier, etc.

a. Closing time

b. Front desk

c. Exchange services

(2) Service hours for food and beverage (facilities)

a. Breakfast

b. Lunch

c. Dinner

d. Other food and beverages, etc.

(3) Hours of incidental service facilities

2. The hours in the preceding Paragraph may be changed temporarily if necessary or unavoidable. In such cases, notification will be given by appropriate means.

(Payment of Charges)

Article 12. The details of the accommodation fee and other charges to be paid by the guest shall be as specified in Attached Table 1.

2. Payment of the accommodation fee and other charges set forth in the preceding Paragraph shall be made at the front desk at the time of the guest's departure or at the hotel's request, in currency or by

any alternative method accepted by the hotel, such as traveler's check, hotel voucher, credit card, or the like.

3. The accommodation fee must be paid even if the guest voluntarily decides not to stay in the room after the hotel has offered it to the guest and made it available for his/her use.

(Liability of the Hotel)

Article 13. The hotel shall compensate the guest for any damage caused by its performance or non-performance of the accommodation contract and any contracts related thereto. However, it shall not apply if the damage is caused by reasons not attributable to the hotel.

2. The hotel is covered by hotel liability insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

(Disclaimers)

Article 14 A user shall be held responsible for any computer communication (such as access to the Internet) he or she performs on the premises of the Hotel. The Hotel assumes no responsibility for any possible damage that may be incurred by the user as the result of use of the computer communication system (including slow down of communication speed and interruption of communication). In addition, the Guest may be required to compensate the Hotel and a third party for any possible damage caused by acts deemed by the Hotel to be an inappropriate use of the computer communication system.

(Handling in the Event That the Hotel Is Unable to Provide Contracted Guest Room)

Article 15. In the event that the hotel is unable to provide the guest with the contracted guest room, the hotel shall, with the guest's consent, arrange for another accommodation under the same conditions as far as possible.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, if the hotel is unable to find another accommodation, the hotel shall pay the guest compensation equivalent to the cancellation fee, which shall be applied to the amount of compensation for damage. However, no compensation shall be paid in the event that there is no reason attributable to the hotel for not being able to provide the guest room.

(Handling of Deposited Items)

Article 16. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables deposited by the guest at the front desk, unless such loss, damage, etc. is caused by force majeure. However, in the event that the hotel requires the guest to disclose the type and value of the cash and valuables and the guest fails to do so, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen.

2. The hotel shall compensate for any loss, damage, etc. caused to items or cash and valuables brought into the hotel by the guest that are not left at the front desk by an intentional or negligent act of the hotel.

However, for those for which the guest has not disclosed the type and value in advance, the hotel shall compensate for damage within the limit of 150,000 yen, unless there is an intentional act or gross negligence on the part of the hotel.

(Storage of Baggage or Personal Effects of Guests)

Article 17. In the case where the guest's baggage arrives at the hotel prior to his/her stay, the hotel shall take responsibility for its storage only when the hotel accepts it prior to its arrival and shall hand it over to the guest when he/she checks in at the front desk.

2. In the case where the guest's baggage or personal effects are left at the hotel after the guest has checked out and the owner is found, the hotel shall contact the owner and ask for his/her instructions. However, if there is no instructions from the owner or the owner remains unknown, it shall be stored for 7 days, including the date on which it was found, and be reported to the nearest police station thereafter.

3. The responsibility of the hotel for the storage of the guest's baggage or personal effects in the case of the preceding two paragraphs shall be dealt with in the same manner as the provision of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 hereof and the provision of Paragraph 2 of the same Article in the case of the preceding Paragraph.

(Responsibility for Parking)

Article 18. In the case where the guest uses the hotel's parking lot, the hotel rents the space only and shall assume no responsibility for managing the vehicle, regardless of whether or not the guest has deposited the car key. However, the hotel shall be responsible for any damage caused by its intentional act or negligence in the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 19. If the hotel suffers any damage due to an intentional act or negligence on the part of the guest, the guest shall compensate the hotel for such damage.

Attached Table 1: Breakdown of Accommodation Fees (related to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

| Total amount to be paid by the guest | Accommodation fee | ① Basic accommodation fee (room charge [and room charge + breakfast and other food and beverage charges]) ② Service charge (① × 10%) |
|--------------------------------------|-------------------|---|
| | Additional charge | ③ Additional food and beverage (excluding those included in ①) ④ Service charge (③ × 10%) |
| | Taxes | (a) Consumption tax (b) Bathing tax (hot spring resort only) |

Attached Table 2: Cancellation Fees (related to Article 6, Paragraph 2)---for the hotel

| Date on which the notice of contract cancellation is received Number of persons applying for the contract | | No show | Accommodation on day | 1 day prior to accommodation on day | 9 days prior to accommodation day | 20 days prior to accommodation day |
|--|-------------|---------|----------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| [Individual] | 1 to 14 | 100% | 80% | 20% | - | - |
| [Group] | 15 to 99 | 100% | 80% | 20% | 10% | - |
| | 100 or more | 100% | 100% | 80% | 20% | 10% |

(Note) 1. % is the ratio of the cancellation fee to the basic accommodation fee.

2. If the contracted number of days is shortened, a cancellation fee for one day (the first day) shall be charged regardless of the number of days shortened.

3. In the event of cancellation of the contract for part of a group of guests (15 or more), a cancellation fee equivalent to 10% of the number of guests staying at the hotel 10 days prior to the date of stay (or the date of acceptance if the application is accepted after that date) (any fractional number shall be rounded up to the nearest whole number) shall not be charged.

Hotel Regulations

To ensure our Guests a pleasant and safe stay, Hotel Hankyu International has established the following Regulations for the use of Hotel facilities as referred to in Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. In case one of these rules is violated by a certain Guest his or her stay and/or utilization of restaurants etc, may be discontinued and also be claimed for responsibility, in accordance with the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts, Article 7 and 19."

●1. Fire Prevention and Security

- 1) Please do not use heating or cooking appliances.
- 2) Please do not smoke in any area outside the designated smoking areas.
- 3) Please do not use reworks, sticks of incense, candles or items with exposed flames.
- 4) For emergency exits and procedures, please check the instructions affixed to the inside of the guest room door.
- 5) When leaving the room, please ensure that the door is locked.
- 6) Please use the door latch when answering a knock at the door. Confirm your visitor's identity through the peephole before opening the door. Contact the Reception immediately if you see people acting suspiciously.
- 7) Please use the lobby for meeting people.

●2. Handling of valuables and checked articles

- 1) Guests are requested to deposit their cash and/or valuables in the safety deposit boxes which are available at the Reception
- 2) Belongings left behind or lost will be handled according to the law.
- 3) Belongings checked or left behind will be kept only for the period as follows:
 Belongings left at the reception 7 days
 Laundries..... 6 months

●3. Payment

- 1) In principle, please understand that you may be requested to pay a deposit at the time of your arrival.
- 2) Please settle your account each time a bill of statement is delivered to you.
- 3) Please understand that we cannot accept payment by checks. We do not provide currency exchange services either.
- 4) Please show your room key to Hotel personnel when signing checks at restaurants or bars in the hotel.
- 5) The Hotel declines to pay on behalf of Guests for tickets of conveyance such as airplanes, trains, sightseeing, buses or taxi; for mail costs, for shopping and dining charges at restaurants or stores which are not under the direct management of the Hotel.

- 6) The Hotel will, upon the Guest's request, arrange tickets for airlines, trains, sight-seeing buses, and postage stamps and parcel shipping; however, all such arrangements must be paid for in cash at the time of the request.

●4. Preventing Disturbance

- 1) Please do not bring into the Hotel the following articles:
 1. Dogs, cats, birds or other animals except guide dogs.
 2. Explosive items such as powder, gasoline, etc.
 3. Things likely to cause bad odors.
 4. Other items whose possession is prohibited by Japanese laws and regulations.
- 2) Please do not tamper with the re prevention facilities, including re alarms, smoke sensors, fireplugs, sprinklers, and do not use them for purposes other than their intended use.
- 3) Please do not gamble or behave in an immoral manner in the Hotel, nor in any way that may give other Guests cause to complain.
- 4) Please do not use rooms or the lobby as business offices, or for purposes other than lodging.
- 5) Please do not deliver advertising materials or sell goods to other Guest in the Hotel.
- 6) Please do not remove any fixtures from their prescribed place and do not use them for purposes other than their intended use.
- 7) Please do not take any fixtures or items which belong to the Hotel out of the Hotel premises.
- 8) Please do not display goods by the windows that may spoil the outside view of the Hotel.
- 9) Please wear bathrobes and slippers only in the guest rooms and not in public areas such as hallways, the lobby, or restaurants.
- 10) Please do not leave your belongings in the hallways or the lobby.

●5. Other

- 1) Please understand that Guests who are minors will not be accepted without the consent of their guardians.
- 2) The Guest shall compensate the Hotel for any damage to the Hotel facilities caused by intention or negligence on the part of the Guest.
- 3) A handling fee will be added to the Guest's outgoing telephone calls.
- 4) Guests are requested to wear a jacket in the Specialty Restaurant MALMAISON located on the 25th floor of the Hotel.
- 5) The Hotel shall not be liable for the well-being of the Guest's vehicle when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, even when the vehicle's key has been deposited with the Hotel.
- 6) The Hotel reserves the right to refuse use of or entry to any of its facilities to individuals or groups who are considered to be any of the following (a) to (d).
 - a) The law in respect to prevention, etc., against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated
 - article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group"), gang member stipulated by the

same law

article 2 item 6 (hereinafter referred to as “gang member”), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.

- b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities
- c) When a corporate body has related persons to gang members.
- d) When the individual seeking accommodation is deemed to have committed any act constituting those set forth below following against the hotel, any employee or guest thereof, or any third party, or when such individual is deemed to have engaged in such behavior in the past: Acts of violence; Threats; Extortion; Intimidation; or Unreasonable demands.

(适用范围)

第 1 条 本酒店与住宿宾客之间签订的住宿协议及其它相关协议应依照本条款规定，对于本条款中未作规定的事项，应依照法令（指法律或根据法律制定的各种条例，以下相同。）或社会约定俗成的习惯。

2、如本酒店在不违反法令及习惯的范围内适用特别条款，则不受前款规定的约束，优先适用上述特别条款。

(申请签订住宿协议)

第 2 条 试图与本酒店签订住宿协议的宾客须向告知本酒店以下事宜。

(1) 宾客姓名

(2) 住宿日期及预计抵达时间

(3) 住宿费用（原则上依照附表 1“基本住宿费用”。）

(4) 本酒店（或本旅馆）认为必要的其他事项

2、如宾客在住宿期间提出希望在前款第 2 项中所述的住宿日期之后继续住宿，则本酒店在接到这一要求时视为该宾客已提交新的住宿协议的签订申请，并作相应处理。

(住宿协议的成立等事宜)

第 3 条 住宿协议在本酒店认可前条中所述的申请时成立。但是，如本酒店证明本酒店未予认可，则不受此限。

2、根据前款规定，一旦住宿协议成立，则宾客须在本酒店指定的日期内，以住宿期间（如超过 3 天，则以 3 天计算）的基本住宿费用为上限，向本酒店支付规定的预付金。

3、预付金首先充当宾客最终需要支付的住宿费用，如果发生了应适用第 6 条及第 18 条规定的情况，则依次充当违约金、赔偿金，之后如有余额，则根据第 12 条规定，在宾客支付费用时予以退还。

4、如宾客未将第 2 款中所述的预付金按照该款的规定，在本酒店指定日期内完成支付，则住宿协议失去效力。本款规定仅限本酒店在指定预付金支付日期时，本酒店将本款内容告知宾客的情况下有效。

(指出无需支付预付金的特别条款)

第 4 条 不受前条第 2 款规定的约束，对于指出协议成立后无需支付该款规定的预付金的特别条款，本酒店有权按照该特别条款，免收预付金。

2、在本酒店对宾客提交的住宿协议申请予以认可时，如本酒店未要求宾客支付前条第 2 款规定的预付金，或未指定该预付金的支付日期，则视为已按照前款中所述的特别条款进行处理。

(关于配合设施防疫的要求)

第 4 条第 2 款 本酒店对于试图在本酒店住宿的宾客，有权根据《旅馆业法》（昭和 23 年法律第 138 号）

第 4 条第 2 款第 1 项规定，要求给予本酒店配合。

(关于拒绝签订住宿协议)

第 5 条 本酒店在下列情况下有权拒绝签订住宿协议。

但是，本款并不意味着本酒店可以在《旅馆业法》第 5 条中所列情况以外拒绝宾客住宿。

- (1) 住宿申请的法律依据非本条款时。
- (2) 因客满而没有空余客房时。
- (3) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客可能在住宿时发生违反法令规定、公共秩序或善良风俗的行为时。
- (4) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客符合以下 a 至 c 项的规定身份时。

(a) 《防止暴力团员不当行为的相关法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 项中所述的暴力团（以下简称“暴力团”。）、该法律第 2 条第 6 项中所述的暴力团员（以下简称“暴力团员”。）、暴力团预备成员或暴力团相关人员、其他反社会势力

(b) 宾客为事业活动由暴力团或暴力团员支配的法人或其他团体时

(c) 宾客为法人组织，其高管中存在符合暴力团员定义的人

(5) 试图在本酒店住宿的宾客，其言行对其他住宿宾客造成重大不便时。

(6) 试图在本酒店住宿的宾客为《旅馆业法》第 4 条第 2 款第 1 项第 2 号中规定的特定传染病患者等。（以下简称“特定传染病患者等”。）

(7) 宾客关于住宿做出暴力性要求行为，或提出超出合理范围的负担要求时（不包括试图在本酒店住宿的宾客根据消除因残疾导致的歧视相关法律（平成 25 年法律第 65 号，以下简称《残疾人歧视消除法》。））第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款规定，要求消除社会性障碍。）。)

(8) 试图在本酒店住宿的宾客反复向本酒店提出《旅馆业法施行规则》第 5 条第 6 款中规定的服务，该服务可能会严重妨碍本酒店向其他住宿宾客提供住宿相关服务时。

(9) 由于自然灾害、设施故障或其他不可避免的原因而无法接待宾客时。

(10) 判断认为试图在本酒店住宿的宾客可能会给其他住宿宾客或顾客造成重大不便时。（符合《大阪市旅馆业法施行等相关条例》第 10 条规定时。）

（关于拒绝签订住宿协议的说明）

第 5 条第 2 款 当本酒店根据前条规定拒绝签订住宿协议时，试图在本酒店住宿的宾客有权要求本酒店说明理由。

（住宿宾客的协议取消权）

第 6 条 住宿宾客拥有告知本酒店后取消住宿协议的权力。

2、 当住宿宾客因其自身原因而取消了全部或部分住宿协议时（不包括根据第 3 条第 2 款规定，本酒店指定了预付金支付日期并要求宾客支付，住宿宾客在支付前取消住宿协议的情况。），本酒店将根据附表 2 中的规定内容，收取违约金。但是，该条款仅适用于本酒店按照第 4 条第 1 款记载的特别条款进行处理，在按照该特别条款进行处理时，本酒店已告知住宿宾客，住宿宾客取消住宿协议时承担违约金的支付义务。

3、 如住宿宾客在未经联系的情况下，于住宿日期的当天下午 8 时（如提前告知抵达时刻，则为该时刻经过 2 小时的时刻）尚未抵达本酒店，则本酒店有权视为住宿宾客已取消住宿协议，进行相应处理。

（本酒店的协议取消权）

第 7 条 本酒店在下列情况下有权取消住宿协议。但是，本款并不意味着本酒店可以在《旅馆业法》第 5 条中所列情况以外拒绝宾客住宿。

(1) 判断认为住宿宾客可能在住宿时发生违反法令规定、公共秩序或善良风俗的行为时，或者已经发生该类行为时。

(2) 判断认为住宿宾客符合以下 a 至 c 项的规定身份时。

(a) 暴力团、暴力团员、暴力团预备成员或暴力团相关人员、其他反社会势力

(b) 宾客为事业活动由暴力团或暴力团员支配的法人或其他团体时

(c) 宾客为法人组织，其高管中存在符合暴力团员定义的人

(3) 住宿宾客的言行对其他住宿宾客造成重大不便时。

(4) 当住宿宾客是特定传染病的患者时。

(5) 宾客关于住宿做出暴力性要求行为，或提出超出合理范围的负担要求时（不包括住宿宾客根据《残疾人歧视消除法》第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款规定，要求消除社会性障碍时。）。

(6) 住宿宾客反复向本酒店提出《旅馆业法施行规则》第 5 条第 6 款中规定的服务，该服务可能会严重妨碍本酒店向其他住宿宾客提供住宿相关服务时。

(7) 因自然灾害等不可抗力原因导致无法提供住宿服务时。

(8) 判断认为住宿宾客可能会给其他住宿宾客或顾客造成重大不便时。（符合《大阪市旅馆业法施行等相关条例》第 10 条规定时。）

(9) 对于在卧室睡觉时吸烟、乱动消防设备等酒店使用规则中所述的其他禁止事项（仅限防火所需事项。）拒不服从时。

2、 本酒店根据前款规定取消住宿协议时，对于尚未向住宿宾客提供的住宿服务等，不会收取相关费用。

（关于取消住宿协议的说明）

第 7 条第 2 款 当本酒店根据前条规定取消签订住宿协议时，住宿宾客有权要求本酒店说明理由。

（住宿登记）

第 8 条 住宿宾客须于住宿日期当天，在本酒店前台进行以下事项的登记。

(1) 住宿宾客的姓名、住址及联系方式

(2) 在日本国内没有住址的外国人则为国籍及护照号码

(3) 本酒店认为必要的其他事项

2、 如住宿宾客试图使用旅行支票、住宿券、信用卡等可代替现金的手段支付第 12 条中所述的费用，须提前在进行前款所述的登记时出示这些手段。

（客房的使用时间）

第 9 条 住宿宾客能够使用本酒店客房的时间为下午 3 时至次日上午 12 时。但是，如属于连续住宿，则除了抵达日及出发日须遵守上述规定，其它日期可全天使用。

2、 不受前款规定的约束，本酒店可酌情同意住宿宾客在该款规定的时间外使用客房。此时，本酒店将按照以下标准收取追加费用。

(1) 延长 3 小时以内，客房费用的 3 分之 1(或客房费用相应金额的 30%)

(2) 延长 6 小时以内，客房费用的 2 分之 1(或客房费用相应金额的 50%)

(3) 延长 6 小时以上，客房费用的全额(或客房费用相应金额的 100%)

（ 3、 前款中所述的“客房费用相应金额”为基本住宿费用的 70%）

（对使用规则的遵守）

第 10 条 住宿宾客在本酒店内须遵守本酒店内张贴的由本酒店制定的使用规则。

(营业时间)

第 11 条 本酒店主要设施的营业时间如下所示，关于其他设施等的详细营业时间，请参阅酒店内放置的宣传页、各处标示、客房内的服务指南等。

(1) 前台/收银等的服务时间

- (a) 门禁
- (b) 前台服务
- (c) 兑换服务

(2) 餐饮等（设施）服务时间

- (a) 早餐
- (b) 午餐
- (c) 晚餐
- (d) 其它饮食等

(3) 附带服务设施开放时间

2、关于前款所述时间，本酒店有权酌情进行临时变更。如有变更，本酒店将采取适当的方式进行通知。

(费用支付)

第 12 条 关于住宿宾客应支付的住宿费用等详细内容，请参阅附表 1 中记载。

2、关于前款所述的住宿费等的支付，须由住宿宾客在离开本酒店出发时或本酒店要求时，使用现金或本酒店认可的旅行支票、住宿券、信用卡等可代替现金的支付手段，于前台进行支付。

3、本酒店向住宿宾客提供客房，在客房可以使用后，即使住宿宾客因自身意愿而未住宿，本酒店也照常收取住宿费用。

(本酒店责任)

第 13 条 本酒店在履行住宿协议及其它相关协议时，或因不履行而给住宿宾客造成损失时，将赔偿住宿宾客的损失。但是，非本酒店原因造成的损失不在此限。

2、本酒店为预防火灾等意外事件，已加入“旅馆赔偿责任保险”。

(免责事项)

第 14 条 在本酒店内使用计算机通信（具体指互联网接入等服务）时，将由使用者本人承担相应责任。对于计算机通信结果（包括通信速度低下、通信中断等现象）及使用者本人所遭受的任何损失，本酒店概不负责。另外，本酒店认为因使用计算机通信不当造成本酒店及第三方遭受损失时，将要求使用者赔偿该损失。

(无法提供约定客房时的处理)

第 15 条 如酒店无法为住宿宾客提供约定客房，应在征得住宿宾客同意后，尽可能安排在其他条件相同的住宿设施住宿。

2、不受前款规定的约束，如本酒店无法安排其他的住宿设施，则本酒店向住宿宾客支付与违约金等额的补偿费，以该补偿费作为损失赔偿。但是，如无法提供客房的责任不在于本酒店，则不支付补偿费。

(对寄存物品等的处理)

第 16 条 关于住宿宾客寄存在前台的物品、现金或贵重品，如发生灭失、毁损等损失时，除因不可抗力造成的情况，本酒店将对该损失进行赔偿。但是，关于现金和贵重品，如本酒店要求住宿宾客告知类型和价值，但住宿宾客未进行告知，

本酒店将最多赔偿 15 万日元的损失。

2、关于住宿宾客带入本酒店后未向前台寄存的物品、现金或贵重品，如本酒店因故意或过失导致发生灭失、毁损等损失，本酒店将对该损失进行赔偿。

但是，关于住宿宾客未提前告知类型和价值的该类物品，除因本酒店故意或重大过失导致的损失，本酒店将最多赔偿 15 万日元的损失。

(住宿宾客行李及携带物品的保管)

第 17 条 如住宿宾客的行李先于住宿宾客到达本酒店，仅限本酒店已提前同意的情况下负责保管，当住宿宾客在前台办理入住手续时交给本人。

2、住宿宾客在完成退房手续后，如将自身的行李或携带物品遗忘在本酒店内，一旦判明失主身份，本酒店将联系失主，并征求失主的处理指示。但是，如果没有失主的指示或无法确定失主的身份，该物品将被保管 7 天（包括发现之日），然后之后送往最近的警察署。

3、对于本条第 2 款所述的住宿宾客行李或携带物品，本酒店应承担的保管责任，如符合第 1 款所述情况，则适用第 1 款规定，如符合前款所述情况，则适用本条第 2 款规定。

(车辆停放责任)

第 18 条 如住宿宾客在本酒店停车场停放车辆，不论是否向本酒店寄存车辆钥匙，本酒店仅仅是提供场地，不承担车辆的管理责任。但是，在进行停车场的管理过程中，如本酒店的故意或过失造成了损失，则本酒店承担相应的赔偿责任。

(住宿宾客的责任)

第 19 条 如住宿宾客的故意或过失给酒店造成损失，住宿宾客须向本酒店赔偿该损失。

附表 1 住宿费用等详细内容(与第 2 条第 1 款及第 12 条第 1 款相关)

| | | 内訳 |
|------------|------|---|
| 住宿宾客应支付的总额 | 住宿费用 | ② 基本住宿费用【房费（房费+早餐等餐饮费）】 ② 服务费（①×10%） |
| | 追加费用 | ③ 追加餐饮（①中所含内容除外） ④ 服务费（③×10%） |
| | 税金 | (a) 消费税 |

附表 2 违约金(与第 6 条第 2 款相关)・・・酒店用

| 取消协议通知的收到之日 | | 取消住宿 | 当天 | 前一天 | 9 天前 | 20 天前 |
|-------------|-----------|------|------|-----|------|-------|
| 申请住宿人数 | | | | | | |
| 普通 | 最多 14 名 | 100% | 80% | 20% | - | - |
| 团体 | 15 至 99 名 | 100% | 80% | 20% | 10% | - |
| | 100 名及以上 | 100% | 100% | 80% | 20% | 10% |

（备注）1. %为违约金与基本住宿费的比例。

2、 如果缩短住宿天数，无论缩短多少天，都将收取 1 天（第 1 天）的违约金。

3、 如团体宾客（15 名及以上）的部分人数取消住宿协议，在住宿 10 天前（如在该天之后受理申请，则为受理之日），相当于住宿人数的 10%（去掉位数，上一位加一。）的人数，不收取相应的违约金。

使用规则

阪急国际酒店为了能让住宿客人在下榻期间享受安全舒适的环境，依据住宿条款第 10 条制定以下规则，请严格遵守。如有违反规则情况，将依据住宿条款第 7 条，解除住宿及酒店相关设施的使用合同，同时有可能依据第 19 条向住宿客人要求承担责任，请遵守本使用规则。

●1. 关于安全与保安的注意事项

- (1) 禁止使用客房内的取暖、厨房等设施的烟火。
- (2) 在本酒店规定的场所以外，请勿吸烟。
- (3) 禁止使用烟火、蚊香、蜡烛等可能造成火灾的物品。
- (4) 请确认写在客房门内侧的避难路径图。
- (5) 下榻期间，从客房外出时请确认房门上锁。
- (6) 下榻期间，被敲门时，请在上好门链的情况下开门或者通过猫眼进行确认。如果发现可疑人员，请与前台联络。
- (7) 请在 2 楼大厅或者图书室与来访者会谈。

●2. 关于贵重物品、寄存物品的处理

- (1) 请将下榻期间的现金、贵重物品寄存到前台的保险柜内。
- (2) 遗忘或者丢失的物品将按照相关法令处理。
- (3) 寄存物品的保管期限，原则上按照以下的期限处理。

前台的保管物品 7 天

保管的衣物 1 个月

●3. 关于支付

- (1) 原则上，到达酒店后会收取住宿费用。
- (2) 下榻期间，如果前台提出账单的支付，请及时付款。
- (3) 本酒店无法接受支票，也无法兑换外汇。请谅解。
- (4) 在使用本酒店的餐厅及酒吧时，如果采取账单签字，请向服务员出示房间钥匙。
- (5) 在非本酒店直营的地下 1 层及 1 层的餐厅商店的餐费、购物费及机票、车票、游览巴士等费用以及出租车费、邮票等费用，本酒店无法代行支付，请谅解。
- (6) 请及时用现金支付本酒店在住宿客人的要求下代行支付的机票、车票、游览巴士以及行李邮寄等费用。

●4. 酒店内对其他住宿客人产生困扰的严禁行为

- (1) 以下物品严禁带入酒店
 - A.狗、猫、小鸟等宠物(辅助犬除外)
 - B.起火或易燃的火药、挥发油类及危险制品
 - C.散发恶臭的物品
 - D.其他明令禁止携带的物品

- (2) 在必要使用时以外,对火灾报警器、自动洒水灭火设备、烟感知器、消防栓及其他火灾预防设备的使用和破坏行为
- (3) 在酒店内进行赌博、有伤风化、违反治安等行为,或者给其他住宿客人带来麻烦和厌恶感的行为
- (4) 把客房及大厅作为营业所或是有营业的行为、不以住宿为目的的行为
- (5) 在酒店内进行广告、宣传品的分发和粘贴,以及物品贩卖等行为
- (6) 移动酒店内物品的位置,严重改变物品现状并在用途范围以外进行使用的行为
- (7) 将酒店内各种设备和物品带出酒店的行为
- (8) 将有损酒店外观的物品挂在窗上或者在窗边摆放的行为
- (9) 穿着睡衣、拖鞋等在走廊、大厅、餐厅等客房以外的设施走动的行为
- (10) 在走廊或者大厅等处放置所持物品的行为

●5. 其他

- (1) 拒绝特别是未经监护人的许可,单独住宿的未成年人。
- (2) 不可抗力以外的原因造成建筑物、设备及其他酒店内的物品损坏、污染或者丢失的情况,有可能会要求赔偿相应数额。
- (3) 使用客房内的电话拨打电话时,会收取设备使用费。
- (4) 晚餐时间光临本酒店 25 楼的 MALMAISON 餐厅时,请您穿着外套。
- (5) 在本酒店所属的楼层使用停车场时,无论车辆钥匙如何寄存,本酒店难以对车辆的管理进行负责,请您谅解。
- (6) 被认定为以下个人或者团体的客人,本酒店会拒绝其使用酒店各种设施。
 - A.根据黑社会组织成员不当行为防止的相关法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号所规定的黑社会组织(以下称为黑社会组织),该法律第 2 条第 6 号规定的黑社会成员(以下称为黑社会成员),黑社会组织成员或黑社会组织相关人员及其他反社会势力
 - B.黑社会组织或黑社会成员所控制的营利法人或其他团体
 - C.黑社会成员担任高级管理人员的法人
 - D.向本酒店、本酒店员工或其他住宿客人及第三方进行暴力、威胁、恐吓或不正当要求,或者提出超出合理范围的负担要求以及被认定过去曾有过上述行为的客人